

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 25 年 12 月号 (第 43 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

12 月号通信をお届けします。

いよいよ師走になりました。
千葉も紅葉が全盛期となり、木枯らし 1 号も吹きました。
寒さ対策をして、残り少ない今年を楽しみましょう。
大掃除も忘れずに



撮影者：高橋秀明



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



中磯辺公園の花壇の手入れをしました。

○中磯辺公園で千葉市から頂いた小さい花の苗を植えてました。残念ながら小雨が降ってましたが作業は順調に進みました。記念撮影の後みんなでお茶を飲みました。私はあまり作業出来ませんでしたが楽しかったのでまた機会があれば園芸に参加してみたいです。

I. T.

○千葉市から頂いた秋のお花を植えました。土曜日の午後に植えに、行ったのですがあいにくの雨に降られて少し残念でした。

当初、予定では3人ぐらいで作業しなければいけなかったのですが7人集まったので素早く作業が

終わって良かったです。また園芸に参加したいと思います。

S. S.

○中磯辺公園に千葉市の花いっぱい市民活動助成事業の一環として80株の花苗を譲り受けました。

この花壇は NPO 法人カフェ・バルコニーの家に委ねられた事なので、できる限り色々なメンバーに手伝って欲しいと声をかけました。

と言っても園芸はメンバーにとって楽しい作業と感じてもらえていないので参加者は少ないだろうなと思っていました。

前日の以前植えてあった植物を取り除く作業に5人、当日の苗の植え替えには6人のメンバーが集まって来て本当に感謝しています。(特に当日は雨の中の作業で本当にお疲れ様でした。)

中磯辺公園の花壇はたくさんのメンバーさんに手伝って頂いて綺麗になっています。良かったら春に向けてパンジーやビオラで埋められた花壇を見に行ってください。

田村



10月誕生会をしました。

○自分がカフェ・バルコニーに入って、初めて誕生会を祝ってもらいました。

台風の影響から人数は、少なかったですけど、何人かは来てくれたので久しぶりに人に祝ってもらったのは何年振りかと思っていましたがすごくうれしい気持ちになりました。

34歳になりましたが、これから目標としては、何事に謙虚な気持ちで人に思いやるを持てるようになっていきたいです。

R. T.





フットサルの試合をしました。

○11月2日、長浦にてバルサの人達と遠征試合をしに行きました。うちのカフェ・バルコニー、つまりシンビアスからは3人行きましたか、普段、火曜日やっている和やかなフットサルではなくバルサの人達と相手チームの気合いがひしひしと伝わってきました。試合になるとあたりもはげしくみんな技術がありいい刺激になりました。

自分はキーパーだったので体力的にきつくなかったですが、精神的にきつかったです。点を入れられたときはとてもくやしかったです。でもすごく充実した1日でした。

R. T.

○フットサルに参加しました。当日は内房線の市原市の長浦に着きました。がんばって試合にいどんだのに負けてしまってくやしかったです。

A. K.



検見川の浜ウインドサーフィン同好会の皆様より寄付

金をいただきました

○検見川の浜ウインドサーフィン同好会の皆様より寄付金をいただきました。

カフェ・バルコニーの家ではウインドサーフィンの皆様より23年度25000円、24年度36000円、25年度36000円とご支援をいただいています。

検見川の浜ウインドサーフィン同好会では地域に根ざした活動として、検見川浜の安全を守る運動やマリンスポーツ通じてのボランティア活動をおこなっています。

このような繋がりは本当に素晴らしいですね。スポーツならではのだご味でしょうか。

同会のますますのご発展を祈念します。本当にありがとうございました。

K. . Y.





寄稿文をもらいました。

○泥まみれの青空に

澄んで行く青空は単なる水の上の仮象だろうか。

生活は住めば住むほど、観念の世界も自身どう仕様も澄んで行くみたいだ。

ぼくたちは勝手なメタファーを使っては、心構え、外面的な空洞に向って渴きつつ無意識に構えていた。

そういう若い日の純粋な形式化をいつのまにか喪っているという認識に気付き、ことばをとおして生活している場の上のほとんど敬虔で散漫で拙劣なる外面性を、苦々しい想いで知らされる他はないのだろうか。

生活者として余りにも好い加減な季節を辿って来た者にとって、だがその暗い外面性に対して、制度的な物象の硝子の象徴のなかで連帯しつつ、自己自身、生きてみたいという怪しい誘惑かこれもぼくたちの当然の権利の承認であるだろうか。それともこれは義務の哲学であるか。

こうして感情は軽やかに、水の上の漣とともに水面を渡って来た、観念の再会、現実を灼いている不透明な魂であった。

澄んでゆくべきは、ぼくたちの肉体と生活の時空間であって、接触の明るい街角に佇ってつまらない対象に一喜一憂していた、塵やきらきらした時間を舐めていると、澄んで行くのは古い世界性を漉して新しい世代を洗った倫理的視界の内在的な韻律であって、それはロックを聴く時に感じた、ダンボの耳の物語る優しい絵本の扉は感性的にいつしか開かれている。そういう世界感覚の目覚め、まだ暗い共生感覚である。

T. N.



ちば市民活力創造フェアに参加しました。

○ちば市民活力創造フェアに行ってきました。

会場はキボールの一階で、様々な NPO の紹介やボランティア募集の情報、手芸のコーナー、福祉事業団体を示すボードが並びステージには高校の吹奏楽、フラダンス、高齢者のコーラスが響いていました。

カフェ・バルコニーの家も地域活動支援センターや B 型就労継続支援事業の PR する紙をボードに貼って皆様に見てもらいました。お惣菜やケーキ、ドリンクなど販売しているブースはカフェ・バルコニーの家だけでお昼時の 11 時から 13 時までにはお客様が多数押し寄せて目の回るような忙しさでした。本当によく売れました。販売しててお客様と触れ合いができて楽しかったです。

これからもブースにきてくださったお客様のことを思いだし、一人一人のお客さまにカフェ・バ

ルコニーの家のことを知ってもらえるように努力していきたいと思います。

K. U.

〇ちば活力創造フェアについて

11月16日17日の両日、地活のメンバーで手工芸品を出品した。

1日目は、スタッフの田村さんと二人で販売に立ちました。

2日目は、バイトの大谷さんと二人で販売に立ちました。午後は、スタッフの岡本さんとバイトの大谷さんに任せて私は、2時までで終わりにしてもらいました。

1日目は、なかなかお客さんが来なくて苦戦しましたが、2日目は、早い時間から売れて、良かったです。

1日目には、メンバーさんもたくさん見に来てくれました。有難う御座いました。

2日目には、私の姉も見に来てくれました。2日間とも楽しく出来たので良かったです。

S.S.

〇ちば市民活力創造フェアに参加して

私は土日にちば市民活力創造フェアに販売のお手伝いをしてました。

私の作ったネックレスやリングやストラップがみなさんの営業活動のおかげで順調に売れて嬉しかったです。

私はいらっしゃいませなど声かけをしてました。

するとお客様がストラップを買ってくださったりして楽しい思い出ができました。

またビーズの販売を試みたいです。

I.T.





カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、平成 25 年 4 月より、毎月第 2 土曜日 10:30~14:30、家族会を開催しております。
今回は 12 月 14 日(土)の予定です。参加費用は無料です。
お問い合わせ・出席申し込みは、事務局（石川・田村）まで
○電話 043(441)3193 090-8462-7460
2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 25 年度賛助会員を募っています。入会金 2,000 円 年会費 3,000 円（1 口）です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。
年会費は 1,000 円からです。（郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家） 振込用紙は各郵便局にあります。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参いただいても結構です。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
（体験料 1 日 200 円）
5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。
（調理実習が免除されます）
6. ボランティアさんを募集しています。
レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。
（問合せは 043-377-3502 簗下、043-441-3193 石川・田村まで）
7. ご支援ありがとうございました。
杉崎様 現金 2,000 円、検見川浜ウィンドサーファー有志 36,000 円



<カフェ・バルコニーの家 通信 第 41 号 10 月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簗下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp

